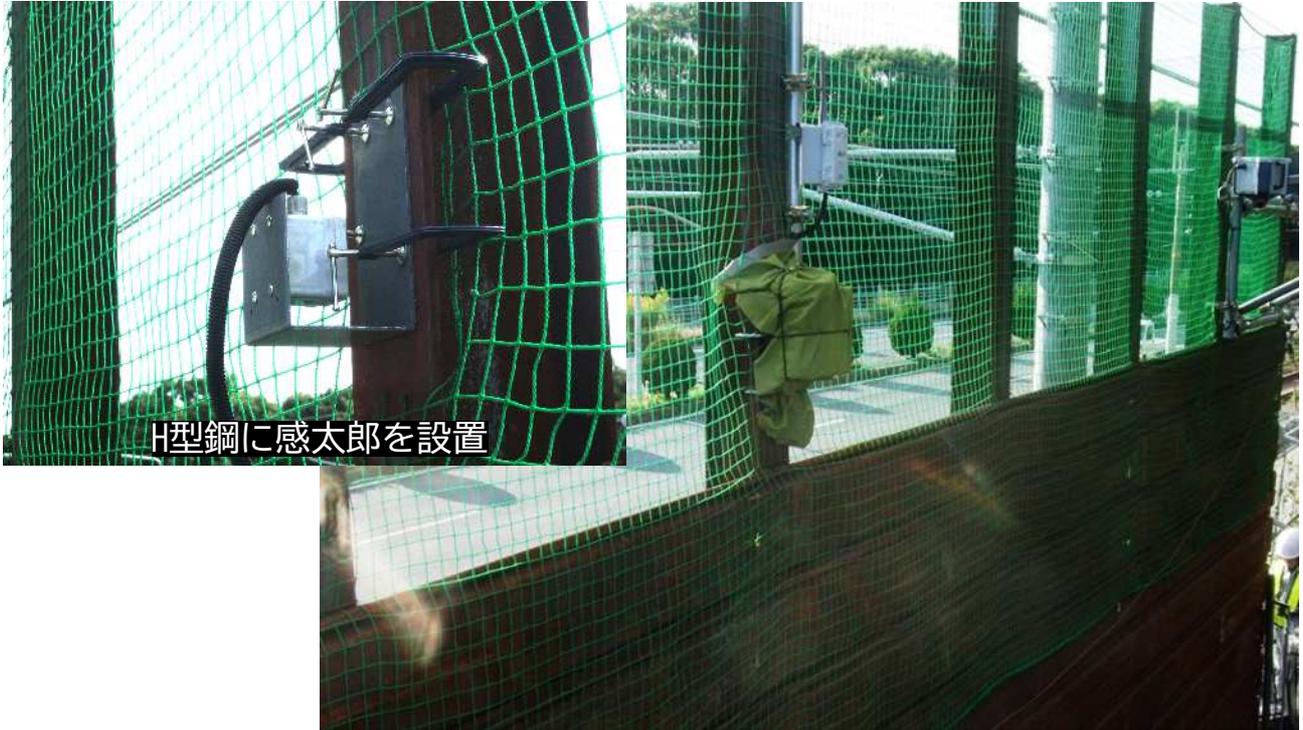


【事例-6】仮設防護柵のモニタリング



H型鋼に感太郎を設置

仮設防護柵のモニタリング

【特徴および適用目的】

鉄道敷に面する斜面にて土砂災害が発生し、応急対策工として仮設防護柵を設置しました。斜面の恒久対策工が完了するまでの間、斜面から崩落した土砂荷重による**仮設防護柵**の変形（傾動）状況を把握することを目的として、**H形鋼**にセンサーを設置しました。

【適用現場の特徴】

- ・ 構造物の勾配（角度）：90°
- ・ 斜面状況（自然斜面, 切土のり面等）：構造物（H形鋼）
- ・ その他特徴：仮設防護柵の変形（傾動）

【適用効果】

リアルタイム遠隔自動モニタリングによる**安全な鉄道運行の実現**